



もとはといえば、朝日新聞⇒阪大の ゆきを励ます集い
 それが、盛り上がって、翌年から
 「出会う→変える、をシステムにする
 「新たなえにしを結ぶ会」に

2001

福祉と医療・現場と政策の「新たな
 えにし」を結ぶ会
 鼎談「ほんまに みんなで考えたい
 人の福祉（しあわせ）」



いまはNHKバリバラでお馴染みの
 玉木さん、きょう13日は大津で
 糸賀一雄記念賞受賞中です

←同期のお二人

2005



2008

経済財政諮問会議の呪いから逃れるために～

前厚生労働大臣・県知事・町長さん・女性代表が、政府に異議申し立て



「介護保険30年～原点に戻って考える」

介護保険の“猛母”…樋口恵子さん

ミスター介護保険…山崎史郎さん

高齢者介護・自立支援システム研究会（通称、大森研）の…大森彌さん

自・社・公政権・福祉プロジェクトの自民党のキーマンだった…衛藤農一さん

自・社・公政権・福祉プロジェクトの社会党のキーマンだった…五島正規さん

“介護保険の産婆”を名乗る 介護保険の哲人…堤修三さん

2010

清水陽一さんを偲び医療を考えた 2011 年 8 月のえにしを結ぶ会：記録

◆開会宣言◆

総合司会・池田朝子さん（国際医療福祉大学大学院修士課程修了生）

6月19日にお亡くなりになりました「清水陽一さんを偲び、うそをつかない医療・文化を広げる『えにし』を結ぶ会」を、開会いたします。

本日、総合司会をいたします国際医療福祉大学大学院医療福祉ジャーナリズム分野修士課程修了生の池田朝子と申します。大熊由紀子教授、これから「ゆきさん」と呼ばせて頂きます、ゆきさんからのご指名で、僭越ですが、司会を担当させていただきます。よろしくお願いいたします。

第1部に先立ちまして、ゆきさん、お願いいたします。



大熊由紀子さん（志の縁結び&小間使い / 国際医療福祉大学大学院教授）

◆清水先生が大好きだった「えにしを結ぶ会」◆

私が朝日新聞を卒業いたしました2001年の春、ここに450人ほどの方が集まって下さいました。素晴らしい方ばかりなのに、お互いがまったく知り合っていないのです。ということで、毎年4月になりますと、医療の人、福祉の人、行政の人、メディアの人、研究者の人がここに集まる、そういう「えにしを結ぶ会」が開かれるようになりました。

亡くなられた清水先生はこの雰囲気が好きで、毎年来て下さいました。今年の会の時は病院で治療中なのに車イスに乗っていらしゃいました。何か異変が起きたらすぐ病院に戻れるように後方のドア近くの席につかれ、その周りにみんなが集まっていた。その時の写真が、追悼集の後ろの方に載っております。

◆「みんなと別れるのがとてもつらい」◆

清水さんが亡くなられる少し前のことです。「ゆきさんに会いたがっている」と聞きまして、駆けつけましたところ、こんな風におっしゃいました。

「えにし風の偲ぶ会を」
という遺言をかなえて。。

2011



大討論会「どう変える～日本のすべての人の未来 ～社会保障と税の一体改革をめぐって～」

与謝野馨さんはホワイトボードをつかって「なぜ消費税10%？」と熱弁を
声を出しての講演のこれが最後になりました（涙）
目が見えず耳が聴こえない福島智さんの論理的な発言を支えるのは
両側の指点字通訳者です

2012



**大研究：日本における利益相反と癒着の構造
～学界・業界・政界・官界・メディアの利権としがらみ～**

子宮頸がんワクチンに見る利益相反／医療界が溺れてしまう構造
犠牲になる患者たち／メディアが共犯者になる／癒着を引きはがす処方箋
3時間半、席を立つひとがいなかった夜の部

2014



トークセッション タブーへの挑戦

医師&ナースのレスビアンカップル
 同じ障害をもつことにならることを承知で出産した母と成長した娘・宇宙さん
 元暴走族。喧嘩で大怪我を負わせて少年院へ。

いまは孤独な少年たちの居場所をつくる「セカンドチャンス!」代表 **2014**



手話条例をつくった鳥取県知・平井 伸治さん
 きょう13日の「えにひの会」にもご参加の
 内閣府障害政策委員長の石川准さん と
 厚生労働省事務次官にこのあと就任した蒲原さん

2014



平井知事の「指導」で、手話で、「I love you」

2014



女の度胸が医療を変える!!!!!!
 認知症・精神医療・医療事故の世界から

2015



ケアのパイオニア・ソーシャルワーカー・歯科医師・医師・
 福祉用具専門家・社会政策学者・厚労省の局長さん……
 職種をこえてつながるのも「えにし」の効果



立体シンポ「地域包括～ニセモノ・ホンモノ～創造篇」

たんちゃん、花ちゃん、唐ちゃん、ただちゃん、サルちゃん
とニックネームで呼び合うあう間柄になるのも
「えにし」効果です

2015



著書『認知症の私から見える社会』が、あっという間に1万部を突破した
丹野智文さんの「えにしビュー」は、診断2年後の6年前のこと
チラシの袋詰めボラを買っててくださるこの気配りp(-)q

2015



登壇のみなさまの「特権」はご著書の発売

無料出演が「シキタリ」のえにし一会、
 唯一の特権は、本が飛ぶように売れること
 ズームの「えにし」の会ではそれができなくなったので
 「こどももまたえにし」の部屋でご紹介した本を、ぜひ(-)-
 ☆

2016



くまもんのお菓子を毎年差し入れてくださる熊本県のカリスマ部長・森枝さんの 益城町を地震が襲ったというので。。

2016



満員御礼判定&えにし結び名簿

2011年、東北大震災。仙台のCLCに事務局ボラをお願いできなくなったとき立ち上がったのが、医療福祉ジャーナリズム分野の卒業生たち
 左から、幹事長・永井裕之さん、受付&放課後担当ボラ・池田朝子さん、
 満員御礼判定&名簿づくりボラ・高田まさえさん

2016



「同じ年の“社会改革家”／こみこむ社会へ！」

- ◇初の挑戦、ろうのコーディネーターは、日本ろうあ連盟事務局長
- ◆「助けてといえる社会に・生きていたら、笑えるんや」
 自殺を思った野宿経験者一座と行脚する牧師さん
- ◆5年連続して人口増、税収増、弁護士、国会議員経験者で手話も堪能な市長さん

2018



「当事者の物語が社会を変える」

- ◆「麻薬に溺れ、大切な弟を巻き込んだ過去」と映画監督 & 俳優さん
- ◆弟のケリーの悲劇を日本の医療改革に生かしてほしいと涙ながらに パットさん
- ◆「LGBTは『いない』のではなく『みえていない』だけ」と区役所の当事者課長

2018



朝10時からの「配布資料袋詰めボランティア」

10月、厚労省事務次官になった吉田学さんは、毎年のようにこの場に (-_-) ☆

2019



「誇りのまちづくり 9人のサムライ ~これが、ホンモノの共生社会」
 「サムライ」には厚労省の老健局長、健康局長、
 少年院出身の町内会長、難病当事者の弁護士さんなど

2019



障害の重い少女も、分身ロボットで、自宅から参加
 「赤ふん坊や」の中には 福井県高浜町で活躍するお医者さんが潜っています

2019



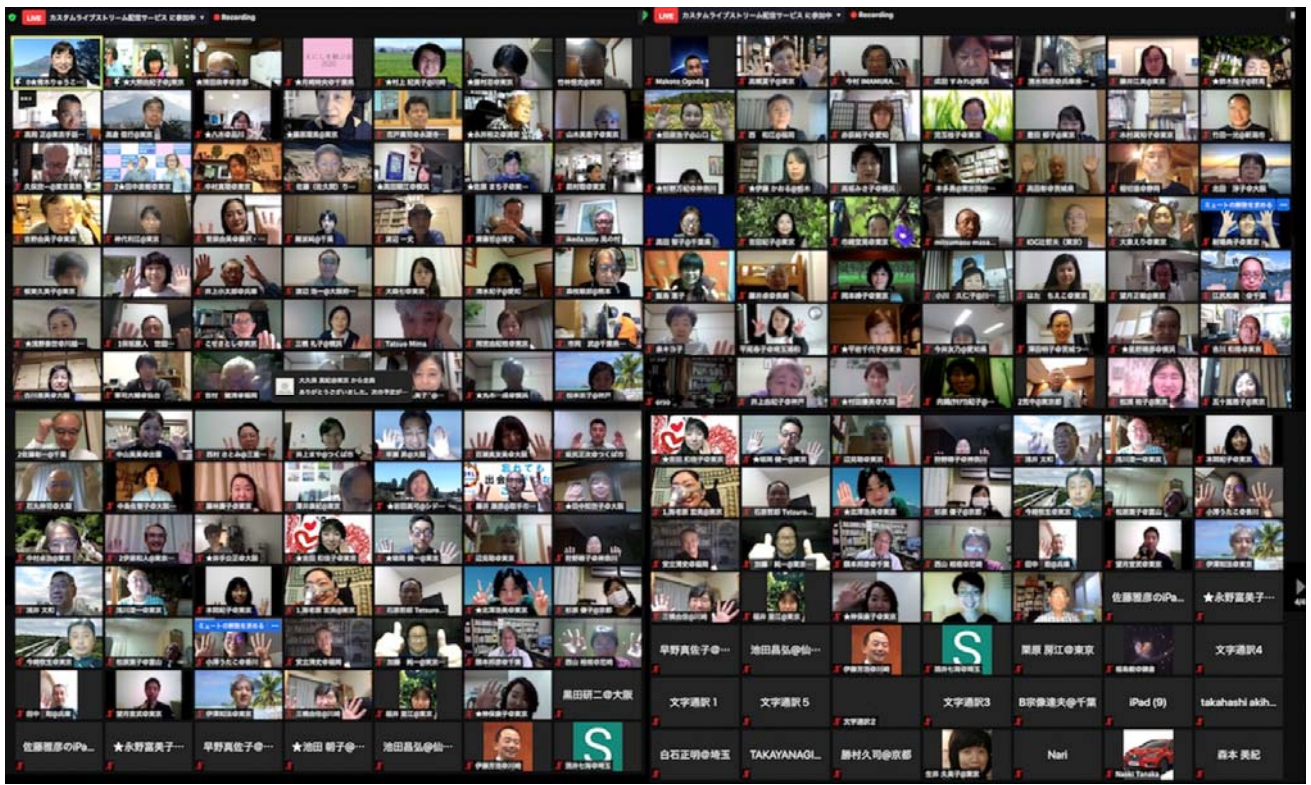
恒例のパソコン文字通訳は、外国育ちの方、
「最近耳が遠くなって。。」という方にも大好評

2019



孤児院で育ったサヘル・ローズさんと
児童福祉法抜本改正をすすめた しおちゃん、塩崎大臣、そして現場のお2人が

2019



ZOOMによる初めての「えにし」の会
オーストラリアから、スウェーデンから、イギリスから、デンマークから、リトアニアから
国境を超えて「えにし」が結ばれましたp(^-^)q。

2020